

アウディにおけるインテグリティ - 誠実な企業とは

信頼は、対人関係においてもプロフェッショナルな世界においても、あらゆる協力関係の基盤を形成します。企業の評判、経済的な成功、そして何よりブランドや製品に対してお客様が寄せる信頼は、企業がその社会的責任を果たしているかどうかにかかっています。ESG（環境・社会・ガバナンス）は、企業が優れたコーポレートガバナンスを実現するために取り組んでいるか、他社との比較を可能にするフレームワークを提供します。このフレームワークは、アウディが下すあらゆる判断の基準となります。

不確実な未来に向けて進むために、これまで慣れ親しんできた道を後にする場合、信頼できる責任ある行動を取ることは、より困難になります。自動車産業界は変革の真っ只中にあり、新しい駆動技術、新しいビジネスモデル、お客様からの新しい期待、加速するデジタル化、気候変動といった大きな課題に直面しています。それぞれの要素は、業界を根本的に変革するだけの破壊的な力を備えています。そのため、今こそ責任ある行動を取らなければなりません。そのための課題は、人々の生活を守り、未来に備えて社会を構築するための現代的な雇用を創出することにあります。現在、自動車メーカーは、これらすべての問題に同時に対処すると同時に、変革が未来にもたらす不確実性にも対処しなければならないという課題に直面しています。不確実な時代に判断を下す際、アウディが進む道のりにガードレールを設置し、企業の存続を可能にしてくれている礎石がインテグリティです。組織のあらゆるレベルにおいて、アウディは「Vorsprung 2030」戦略を基盤として、企業の発展を次のステージへと導く共通の価値観を共有しています。[インテグリティとコンプライアンス](#)は、アウディおよびそのすべての従業員にとって、きわめて重要な指標となっています。

変革のペースに影響を与える要素は、ステークホルダーと法的要件

企業の発展を定義し、変革のペースに影響を与える要素は、2 つあります。そのうちの 1 つは、従業員、パートナー企業、お客様といったステークホルダーの期待です。このようなステークホルダーは、信頼性が高く、一貫性があり、測定可能な企業の意思決定を期待しています。透明性もまた、決定的に重要です。もしステークホルダーの期待に応えることができなければ、企業の評判に深刻な影響がもたらされる可能性があります。

ステークホルダーが持つ期待と同じくらい重要な要素は、[法的規制の要件](#)です。世界各地で課される法的な規制は増加の一途をたどり、新たな規制も制定されています。その一例としては、[サプライチェーンにおける企業のデューデリジェンス義務に関する法律](#)が挙げられます。この複雑な法律の背後には、ドイツに拠点を置く企業の法的枠組みがあります。この法律は、全世界のサプライチェーンにおいて環境に関する権利と人権を守り、現状の改善を目指すことを目的としています。EU レベルおよび [UNECE](#)（国連欧州経済委員会）を通じて管理されている、排出物質、製造物責任、車両安全性、素材リサイクルといった事項には、より厳しい要件が課されるようになってきました。

アウディの日常業務でインテグリティが実践されている方法

企業としてのアウディは、法律を遵守し、自らが定める責務を全うします。アウディの[コンプライアンス管理システム \(CMS\)](#) は、組織的なフレームワークを提供します。これには、法律、社内規制、および企業内の誠実さの文化への一貫したコンプライアンスを保証するための原則、対策、プロセス、構造などが含まれています。CMS は、未来の要件に誠実に取り組むため、常に更新されています。さらにアウディは、グループの目標を定め、長期的な存続可能性と競争力を確保するためのリスク管理システム (RMS) / 内部統制システム (ICS) も整備しています。これらの要件は、インテグリティを促進するためのさらなる手段と原則によって補完されます。

- アウディが採用するあらゆる企業行動において、妥協の余地がない倫理基盤として尊重されるのは人権です。
- 従業員向けの行動規範に加え、フォルクスワーゲングループ内のビジネスパートナーの活動にも、法的拘束力のあるガイドラインが適用されます。
- すべての事業分野で約 100 人のインテグリティアンバサダーが、理念の普及と手本の提供を行っています。彼らは、インテグリティに関する対話を促し、正直でオープンなフィードバックを推奨するスピークアップ（意見を声に出す）文化の定着を促進しています。

規制要件と多様な要求に対応するため、アウディは包括的なコミュニケーションとトレーニングを実施しています。

関連する対策は以下のとおりです。

- コンプライアンスとインテグリティに関する、従業員向けの**必須およびリスクベーストレーニング**。例：アウディ行動規範、インサイダー情報、汚職防止、マネーロンダリング、人権などをテーマとするもの。
- ジレンマ的状況の処理に関する**トレーニングプログラム**、インテグリティに関するインパルス（衝動的行為）ワークショップ、管理職候補全員に提供される資格プログラム「インテグリティスキルセット」など。
- インテグリティとコンプライアンスに関する話し合い、「取締役会との対話」、またはアウディ インテグリティサミットなどの**定期的な対話フォーマット**。
- **一次サプライヤー向けトレーニング**

誠実に行動する：すべての企業レベルでの永続的な課題

その複雑さゆえ、大企業が掲げる目標の中には対立する内容が含まれている場合があります。部門間の役割と目標の違い、および COVID-19 のパンデミックや半導体不足といった外的影響により、意思決定が困難になっています。このような時代こそ、インテグリティと責任に基づいた行動が決定的に重要になります。トレーニングプログラム、包括的なコミュニケーション、アウディの企業価値は、個々の従業員が誠実に、そして自分の責任で意思決定を行うのに役立ちます。

継続的な対話は、このような主体的行為を促進し、確立させるための鍵です。